

学校と地域の
つながり新聞



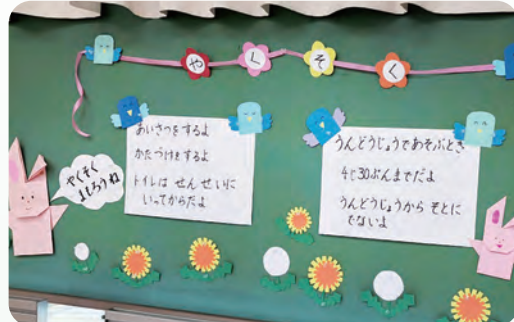
小中一貫校 引佐北部小中学校 (浜松市)

コミスクだより

地域みんなの想いとともに… 令和4年7月 vol.12

News!

引佐北部小中学校区に待望の学童保育 放課後児童教室「しずたま共育堂」が開設!



旧パソコン教室を利用し、4月13日(水)から放課後児童教室「しずたま共育堂」が開設されました。浜松市教育委員会からNPO法人ひずるしい鎮玉(理事長・萬立芳朗)が委託を受け、地元の女性を中心となって、放課後の小学生の勉強や遊びを見守っています。

開設時間は、通常、下校時刻から17時までで、夏休みなどの長期休暇も9時から16時30分まで小学生を預かります。これまで引佐北部小中学校区では、学童保育がなかったことから、小学生を預けている保護者からは「子ども同士の交流のために助かっている」「平日は仕事をしているので17時まで預かってもらえると助かる」といった声が寄せられています。



「しずたま共育堂」での小学生の様子や保護者などの声は、YouTubeの「浜松山里いきいきレポート」でご覧いただけます。
問合せ：NPO法人ひずるしい鎮玉 / E-mail info@shizutama.jp



模擬会社きりやま／採蜜体験／さとの子食堂

健全育成会／地域学校協働本部／生き物体験

健全育成会

「引佐北部地域のよりよい未来を考える日」開催



浜松市青少年育成センター熊谷宗祐さんの講演



6月9日(木)の引佐北部中学校区青少年健全育成会の総会にあわせて、今年も「引佐北部地域のよりよい未来を考える日」が開催されました。コロナ禍となって以降、地域の方に学校行事にご参加いただける機会がほとんどありませんでしたが、3年ぶりに地域の方にも一生懸命に学ぶ児童・生徒の授業の様子を参観していただくことができました。

また授業参観の後には、浜松市青少年育成センターの熊谷宗祐さんによる「青少年のインターネット利用と家庭の役割」をテーマとした子育て講演会も行われました。

「引佐北部地域のよりよい未来を考える日」にご参加いただいた地域の皆様、ありがとうございました。

引佐北部小中学校 地域学校協働本部が発足

令和2年度から正式にスタートした浜松市のコミュニティ・スクールは、地域の方が学校の経営方針について意見・承認などを行う「学校運営協議会」を設置した学校をさします。ただ、全国的には協議会での議論や学校からのリクエストを受けて、児童・生徒の学びをサポートする活動を行う「地域学校協働本部」という組織が設置されています。

そこで令和4年度から有志で引佐北部小中学校地域学校協働本部を発足させました。授業への人材紹介や各種サポート、読み聞かせボランティアの募集、サマースクールなどの企画を行っていきます。活動に興味のある方は、ぜひご連絡ください!

募集 読み聞かせボランティア

9月22日(木)、12月8日(木)、2月9日(木)の8時から8時10分で、教室での本の読み聞かせをしていただける方を募集しています。保護者はもちろん、地域の方も大歓迎です。朝のひと時を子どもたちと一緒に過ごしてみませんか?

☆☆☆☆☆☆☆☆ 引佐北部小中学校、引佐北部みさと幼稚園のブログもぜひご覧ください ☆☆☆☆☆☆☆☆

引佐北部
小中学校



引佐北部小中学校のフレッシュな情報を発信中!



引佐北部
みさと幼稚園



併設する引佐北部幼稚園の日常を発信中!



『コミスクだより』第12号／令和4年7月21日

発行：引佐北部小中学校 学校運営協議会 発行人：引佐北部小中学校 学校運営協議会 会長(夏目裕三)

編集：引佐北部小中学校 地域学校協働本部 制作：加藤隆康

〒431-2533 静岡県浜松市北区引佐町四方浄134-6 TEL 053-528-3131 E-mail inasahokubu-ej@city.hamamatsu-szo.ed.jp

引佐北部小中学校
キャラクター
「きりやまざる君」





子どもたちの居場所づくり 「さとの子食堂」のご紹介

引佐北部地域の皆さん、
ぜひお待ちしております！
お誘い合わせて来場してくださいね。
輪が広がると嬉しいです。
【事務局／野末あけみさん】



さとの子食堂
引佐町東黒田 37-2
いなさ愛光園 地域交流ホール
お問い合わせ／053-542-1137

健全育成会の総会後に、緑と花の会のみなさんから、今年スタートしたばかりの「さとの子食堂」の取り組みについての紹介がありました。

一般的に「子ども食堂」というと、特定の子どもが利用するとみられがちですが、緑と花の会のみなさんは、子どもたちの居場所づくりをめざしているそうです。

「さとの子食堂」は、毎月第3土曜日に、いなさ愛光園内に10時から15時まで開催されています。利用料は子ども100円、大人200円です。午前は宿題や工作の学習支援、午後はレクリエーションなど、まさにお腹も心も満たされる場です。

食材も地域の方からの寄付が多く、この日は九十製茶さんからのお茶の寄付もありました。ぬくもりと笑い声が満開の食堂です。ぜひ足を運んでみてください。

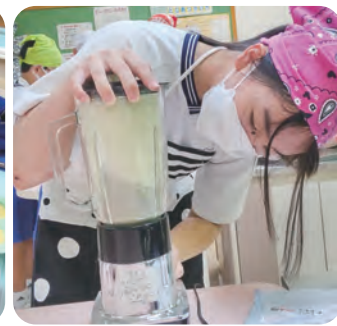
「模擬会社きりやま」の商品づくりを地域がサポート



パッケージデザインは、手にとりたくなり、見る人が分かりやすいよう、考えながら制作しています！



廃油を材料に使用した石鹸で、汚れ落ちが良くオススメです。カラフルなのでインテリアにも♪



しいちゃんソルトの美味しさには企業秘密があります！衛生管理に気をつけて作っています♪



カブトムシの幼虫です！毎週、成長を楽しみにしながらお世話をしています。

／皆さま、ぜひお越しください！／

「模擬会社きりやま」販売活動開催！

日時：7月23日(土) 9:00～ 場所：たざわの里



6月25日(土)販売活動の様子

引佐北部小中学校に置いた巣箱から「はちみつ」が採れました！ 学校で採蜜体験を行いました



学校で採れたはちみつ

「みさと恵(めぐ)みつ」商品化！



はちみつは計25kg採れました！
採れたはちみつは「模擬会社きりやま」販売会で販売のほか、
地域の子ども食堂やNPOに寄付される予定です。



生徒がネーミングとラベルデザインに携わりました♪

地域の豊かな自然に親しんでもらおうと、株式会社長坂養蜂場さんが4月から学校隣のビオトープに巣箱を設置しました。6月下旬にたくさん蜜が集まったため、7月1日(金)に、採蜜作業の見学や体験を通じてミツバチの恵みや地域の自然環境について知る特別授業を行いました。

小学生51人は巣箱から取り出した巣板を遠心分離機にかけて蜂蜜を絞り出す工程を見学しました。採れたばかりのはちみつを試食し、「おいしい」と歓声が上がりました。2年生4人はミツバチのお勉強をしたのち、巣の中を観察し、蜜ぶたを切り落とす体験に挑戦。体験した児童は「楽しかった。はちみつはとても甘かった」と声を弾ませました。

この取り組みから、学校周辺にも豊かな自然環境があるという地域の魅力の再発見や、「ふるさと科」や「模擬会社」での学びにつながればと思います。